療養費支給申請書（３１年　４月分）（はり・きゅう用）

被保険者欄

○被保険者証等の記号番号	○発病又は負傷年月日	○傷病名（医師の同意を受けた傷病名）
○○○○　―　○○○○	○○年　○月　○日	頸腕症候群

施術を受けた者の氏名	続柄	○発症又は負傷の原因及びその経過
(ﾌﾘｶﾞﾅ) スミトモ　ハナコ 住友　花子　男・(女) (昭)・平・令　○○年○○月○○日生	1.本人 (2.配偶者) 3.子 4.その他（　）	不詳、改善傾向にある ○業務上・外、第三者行為の有無 １．業務上　２．第三者行為である　(３．)その他

施術内容欄

初療年月日	施術期間	実日数	請求区分
平成３１年　３月１５日	自・平成 31 年 4 月 5 日～至・平成 31 年 4 月 30 日	4 日	新規・(継続)

傷病名　1.神経痛　2.リウマチ　(3.頸腕症候群)　4.五十肩　5.腰痛症　6.頸椎捻挫後遺症　7.その他（　）

転帰：(継続)・治癒・中止・転医

初検料　１はり　２きゅう　３はりきゅう併用　　円

はり・きゅう師記入欄

施術料					
	はり	円×	回＝	円	
	きゅう	円×	回＝	円	
	はり・きゅう併用	1,580 円×	4 回＝	6,320 円	
	電療料 (1電気針 2電気温灸器 3電気光線器具)	30 円×	4 回＝	120 円	
往療料	4 km まで	円×	回＝	円	
往療料	4 km 超	円×	回＝	円	
施術報告書交付料（前回支給：　年　月分）		円×	回＝	円	
費用額計				6,440 円	

摘要
※施術管理者以外が施術した場合に記入
施術者氏名＿＿＿＿＿＿
施術日　・　・　・　日
※往療を必要とした場合に記入
往療日　・　・　・　日
往療を必要とした理由

施術日	4月	1 2 3 4 5 (6) 7 8 9 10 11 (12) 13 14 15 16 17 18 (19) 20 21 22 23 24 25 (26) 27 28 29 30 31
通院○ 往療◎		

施術証明欄

上記のとおり施術を行い、その費用を領収しました。
平成３１年　４月　３０日

はり師免許登録番号　第 888888 号
きゅう師免許登録番号　第 999999 号

保健所登録区分　(1.施術所所在地)　2.出張専門施術者住所地
所在地　東京都新宿区○○町××
施術所名　○○鍼灸院
施術管理者名　灸野　鍼太郎　電話 00-0000-0000

申請欄

上記の療養に要した費用に関して、療養費の支給を申請します。
令和元年　５月　１日

〒000－0000
被保険者（請求者）　住所　東京都新宿区○○町○○
氏名　住友　太郎　電話 00-0000-0000

住友不動産販売健康保険組合理事長　殿

支払機関欄

支払区分：(1)振込　2.銀行送金　3.郵便局送金　4.当地払
預金の種類：(1.)普通　2.当座　3.通知　4.別段
金融機関名　けんぽ　(銀行)・金庫・農協　(本店)・支店・出張所
口座名義カタカナで記入　スミトモ　タロウ
口座番号　9 9 9 9 9 9 9 9　郵便局

同意記録

同意医師の氏名	住所	同意年月日	傷病名	要加療期間
保険　医太郎	東京都新宿区○○町△△	平成３１年　３月１０日	頸腕症候群	３ヶ月

＜記入にあたっての注意事項＞
- 申請書は暦月を単位として作成してください。
- 二重線内（「施術内容欄」および「施術証明欄」）は、施術管理者へ記入を依頼してください。
- 「支払機関欄」は、被保険者名義の口座を記入してください。
- 「同意記録」は、同意書の原本を添付する場合、記入の必要はありません。ただし、前月分以前の申請書に同意書の原本を添付し、当該同意書に基づく支給可能期間内の場合は、当該同意書に係る内容を「同意記録」に記入してください。

＜提出の流れ＞本人 → 事業所 → 健康保険組合　（※任意継続の場合は、直接 健康保険組合へ提出してください）
※当該申請書を提出の際には、施術に要した費用の領収書（原本）を必ず添付してください。

＜その他添付書類（該当する場合）＞
□医師の同意書（原本）　□施術報告書（写し）　□往療状況確認表　□１年以上・月 16 回以上施術継続理由・状態記入書

問い合わせ先　住友不動産販売健康保険組合　TEL. 03-5354－8161
2019 年 4 月版